

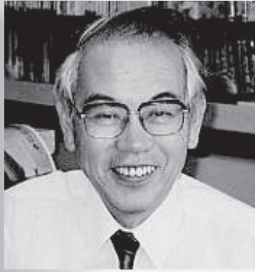
届け！この歌この想い チャリティー講演・演奏会

平成22年11月27日（土）

午後13:20～16:45（開場12:30） 会場：鎌倉芸術館 大ホール

【講演】村上和雄 Murakami Kazuo

『スイッチONの生き方』



昭和11年奈良県生まれ。昭和38年京都大学院博士課程修了、同年米国オレゴン医科大学研究員。米国バンダビルト大学助教授などを経て、53年筑波大学応用生物化学系教授に就任。DNA解明の世界的権威。世界に先がけ、高血圧の黒幕である酵素「レニン」の遺伝子解読に成功し、一躍世界的な業績として注目を集める。現在ノーベル賞の有力候補とされる注目の人。想像をはるかに超える人間の持つ偉大な可能性を開花させる「眠れる遺伝子の目覚めさせ方・考え方」を解き明かす。
（著書）※当日販売予定「生命の暗号」「愛が遺伝子スイッチON」「アホは神の望み」「スイッチ・ONの生き方」 他多数

【講演】横田滋・早紀江 Yokota Shigeru/Sakie

『届け！この想い』 - 拉致問題の早期解決と被害者の無事救出を -



滋様は昭和7年徳島市生まれの札幌育ち。昭和26年日本銀行に入行、平成5年に定年退職。早紀江様は昭和11年京都生まれ。夫妻は昭和37年に結婚。名古屋支店時代の昭和39年10月、長女めぐみさん誕生。新潟に転勤した翌年の昭和52年11月15日、中学1年生だっためぐみさんが下校中に自宅近くで突然消息を絶った。夫妻は、この時からあらゆる手を尽くしてめぐみさんを探し続けた。20年後の平成9年1月、亡命した北朝鮮元工作員の証言などから、めぐみさんが拉致され、平壤（ピョンヤン）で暮らしている可能性が浮上。同年3月、他の行方不明家族と「北朝鮮による拉致」被害者家族連絡会を結成。滋様は平成19年まで代表を務め、政府などに真相究明と救出を求める活動をしてきた。（著書）※当日販売予定「めぐみ、お母さんがきっと助けてあげる」「めぐみへ 横田早紀江、母の言葉」「めぐみ手帳」

【演奏・オープニングメロディー】トルバドゥール Troubadours

『届け！この歌 このメロディー』



ギター酒井良祥（さかいたかよし）と、ヴァイオリン皆川真里奈（みなかわまりな）によるユニット。04年12月、二人で清瀬市主催・蓼科高原旅行内コンサートに出演したのをきっかけに結成。05年2月より、本格的に活動を開始。それぞれの本業であるクラシックをベースに、オリジナルを含む、様々なジャンルを網羅したプログラムでライブを開催。以後関東を中心に活動を展開。同年4月、第2回レガシィ・ヴァイオリン・コンクール アンサンブル部門にて銀賞（総合2位）埼玉新聞社賞を受賞。09年5月、サントリーホール・ブルーローズにて世界的ソプラノ歌手サイ・イエンゲアン氏とジョイントリサイタルを開催し、満員御礼好評を博した。現在関東各地のライブハウスで満員御礼を多発させるなど、人気実力を伸ばしている、注目の十弦デュオである。

総合司会 高橋のりみ Takahashi Norimi



三児の母。結婚後さまざまな地域活動に参画、子育て中に仲間と組織を創り、市と協働で市民活動を実践中。

主催：NPO法人 生涯学習塾神奈川

後援：神奈川県倫理法人会 日本交流分析協会 テレビ神奈川 神奈川新聞

届け！この歌この想い チャリティー講演・演奏会